

## 2025年万博基本構想検討会議

### 第3回 整備等部会 議事録

#### 【開催概要】

- 1 開催日時 平成28年9月29日（木） 13時30分～14時00分
- 2 場 所 ホテルプリムローズ大阪 鳳凰の間（東）
- 3 出席委員

#### <有識者>

江原委員、太下委員、嘉名委員、澤田委員、橋爪委員、溝畑委員

#### <行政>

伊吹委員、田代委員（代理：種村副町長）、田中委員（代理：高橋都市計画局理事）、  
田村委員、辻委員（代理：宮崎副市長）、野崎委員

#### <経済界>

出野委員、児玉委員、齊藤委員

#### 【議事次第】

これまでの検討経過を踏まえた基本構想府案のとりまとめに向けて（会場等）

#### 【配布資料】

- 資 料 : 会場等部分 検討状況  
参考資料1 : 基本構想府案 構成項目（案）  
参考資料2 : IRと万博会場の考え方について

#### 【内容】

##### ○事務局

事務連絡、配布資料の確認

資料「会場等部分 検討状況」について説明

##### ○橋爪部会長

ありがとうございました。ただいま説明された部分は、この後の全体会議におきまして、基本構想（素案）として議論させていただく予定になっておりますが、今の説明に関しまして何かご意見等あれば、お願いいたします。10分、15分ほどしか時間がございませんが、挙手をお願いいたします。はい、お願いします。

#### ○江原委員

大変、詳しいご報告ありがとうございました。事務局の皆さんには、大変ご苦労があったと思います。内容そのものについてではありませんが、夢洲で万博を開催するという点について、参考ということでお話しさせていただきたいと思います。資料にスマートシティってありますね。夢洲ってどこなの？何なの？どうして大阪万博を夢洲でやるの？といわれた時のために、“夢洲はスマートシティのモデルです”といういい方をしたいものだと思います。そのためには、各方面からアイデアを募り、街づくりをしていったらいいと思います。“夢洲はスマートシティ” こういういい方を、国内外に発信したらいいのではないかと思います。スマートシティとはいうものの、なかなか具体像が思い浮かびませんね。だからこそ、大阪万博でスマートシティのモデルを夢洲につくる。そういういい方、紹介をしたらどうかと思いました。どんなモデルかは一言ではいえませんが、大阪万博のテーマの健康と長寿にも対応するスマートシティではないかと考えます。それからスマートシティ後に「ゼロエミッション」と書いてありますね。私、上海万博の日本館で、「ゼロエミッション・シティ」のモデルを展示紹介したのを思い起こしました。2020年の近未来を想定し、無人運転車とか、運転しながら給油できるシステムとか、床発電、環境に優しい、便利で快適な街の様子を紹介しました。今から見ると、まだ実現していないもの、実現しつつあるものもあります。参観者にはちょっとした人気となりました。長くなって恐縮ですが、もう一点、話させてください。いま世界はいろいろな共通の課題に直面しています。その中で最大の課題として少子高齢化と都市化が指摘できると思います。これは、先進国も発展途上国もいずれもが抱えている、将来抱えることになる課題だと思います。この少子高齢化と都市化に共通する数多くの現象の中からその最大公約数を探すと、健康、そして、その延長線上にある長寿がその有力な候補となると思います。都市化、少子高齢化＋スマートシティを夢洲が舞台となる大阪万博で表現するというのもいいなと感じています。以上、感想を話させていただきました。

#### ○橋爪部会長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。お願いします。

#### ○伊吹委員

すみません、経済産業省の伊吹と申します。私からも二点だけ。ここまでまとめて頂いて本当にありがとうございました。一つは、先日、関西広域連合でみなさん一緒にやっていきましょうという決議が出たので、非常にいいなというふうに思ってるんですが、会場が夢洲ということなので、どうやってこう関連付けて、例えば観光の動線をつくっていくとか、そういうことにつなげていくかという工夫をちょっとやると、色んな人が本当に一所懸命やってくれるので、いいかなというのが一つ。それから、今の素案の中に書いていただいているんですけども、この地域をどういうふうにしていくかっていう絵姿を、み

なさん描きつつあるということだと思いますので、今までの万博ってどうしても造って壊しちゃうという感じになるんですけども、先のことをにらんで、造ってそのままできれば再利用することを考えながら、会場の細部を詰めていただけると非常にいいものができるのかなというふうに思いますので、細かいところを記述するときに、そういった考え方を入れたらと思います。ありがとうございました。

○橋爪部会長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

○溝畑委員

今の皆さんの意見と重複するんですけども、やはり世界の中で今なぜこの時点でこの大阪の夢洲の場所でやるかということについて、ここに掲げてる要件も、国内的な要件としてはこれでいいですけども、もう少し時間距離的に、例えばここから1時間から3時間でアジアの主要都市をほぼ網羅するとか、国内でいけばほとんど3、4時間圏内にあるとか、これは日本から見た場合に、3、4時間圏内に動ける場所にあるというのは、世界的なプレゼンスをしっかりと強調するのであれば、そういうこともやはり強調すべきじゃないかな、と。時間距離は普通どこからか1時間、2時間でグルッと円を書いていって、おそらくグルッと円を書けば3時間くらいの距離に九州まで網羅できるんじゃないかなと。北海道も網羅できるんじゃないかと思うんですね。アジア主要都市はほぼ台湾からバンコク含めて、そういうアジアの中でもハブの視点の、拠点性の強いこの都市で21世紀のこの時期にオリンピックの5年後、オリンピックのレガシーとして、この世界のヒト・モノ・カネの一つの拠点をここに設けるんやと、力強いプレゼンスがいるんじゃないかと思いますので、そういう時間距離というところをもう少し強調してもいいんじゃないかなという風に思いましたので、先程、伊吹委員がおっしゃったように、これが関西のハブ、西日本のハブというよりもアジアの中でのそういった、おそらくこの地理の拠点性が高まっていることも強調したらいいんじゃないかなと思いましたが、なぜここなんですか、というところにそういうのも加えた方がよりインパクトがあるんじゃないかなと思いましたが、意見として出させていただきます。

○橋爪副座長

ありがとうございます。

○田村委員

伊吹委員のお話があったので、全体の方で申し上げようかと思いましたが、また関西の話になって恐縮ですが、関西広域連合の決議は非常に良かったと思います。中でも散々出てくるんですが、先端医療の話も出てくるし、医療産業のツーリズムも出てくるわけで。

従いまして、夢洲から近い関西に点々とあるところを、例えば観光の事業者の方々とタイアップして、ツアーを組み、それはこの万博の関連だという明確な位置付けをするような、そういう関連イベントといったものがあるのではないかと思います。それと同時に堺市の意見というより個人的な意見ですが、泉北ニュータウン等で非常に高齢化が進んでいる地区があります。そういった地区では、健康や医療等に関連したまちづくりをこれから積極的にやっていきたいと思っています。また大学生や小中学校の児童も生徒も一緒になってまちづくりをしたい、モデルになるようなことをできたらいいなと思っています。またそういったことも関連の行事や施設として、位置付けをするようなことがあってもいいのではないかと思います。そうすると夢洲あたりから、ごく一部の人かもしれないが、そういった人々が他の地域を訪れるように広報していく、そんなことがあってもいいのではないかと考えています。

#### ○橋爪副座長

愛知の博覧会の時も、名古屋市などが主催となり、博覧会とは別途、独自の大型催事を複数会場で開催されていた。広域でそういういくつか提携する催事が、実践として必要であると思います。

#### ○田村委員

サテライトという意味ではないですが。何か正規の位置付けがあってもいいのかなと思います。

#### ○橋爪副座長

ありがとうございます。

#### ○太下委員

先ほど江原委員からゼロエミッションの話がありましたけど、私も賛成です。この素案の環境への配慮の中にも、自動走行技術の普及という表現がありますが、ご案内のとおり、毎日のように自動運転に関する記事が出ているくらい、すごい話題になっています。そして、2020年には自動運転車が大手メーカーから市場に投入されると言われていますが、今から考えると、2020年は、2025年へ向けてのちょうど折り返しの年になるのですね。2025年はそこからさらに5年後の開催ということになるわけですので、現時点では想定もつかないような自動運転の技術が社会に普及していると推測できます。実際に今から5年前に、これだけ自動運転が話題になると見越した人はいないはずなのです。例えば、タクシーについて考えてみても、自動運転のタクシーも可能になるわけですから、車体のデザインやサービス形態からして全然変わってきますよね。こう考えたら、大阪府内の一部を特区申請して、そこで自動運転が行われると同時に、そこから、自動運転車で

あれば直接会場に来れるとする仕組みも考えられます。すなわち、2025年の万博を契機として、まちづくりと交通政策が全部一体となった形で自動運転に取り組み、それがさらにゼロエミッションにつながっていくような、もっと大きなスケールの構想がされてもいいと思いました。

#### ○橋爪部会長

ありがとうございます。

#### ○嘉名委員

先ほどから出ている周辺との連携というのは大賛成で、周辺のまちづくりと連動していくということで、関西の広域的な観光とか街づくりの活性化、そのことが健康長寿につながっていくという流れを生み出していくのが大事だと思います。それから、会場計画についてはランドスケイピングといいますか、景観計画が非常に重要だろうと思っています。周辺で工事されている可能性もありますし、あるいはガントリークレーンとか港湾施設との関係もあります。会場計画としては、周辺の景観との関係に十分配慮して進めていくことが必要だということ。それから、ライバルと競っている時の最終のポイント・分かれ目になるかもしれませんが、いわゆる安全確保とか、防災の問題でございます。基盤施設の安全性については、会場計画でももちろん触れられているわけですが、テロ対策ですとか、地震とか災害が起きた時の対応、万全の体制と取っていることが当然求められるわけなんですけれども、そのあたりへの配慮が盛り込まれていることが、最終的な判断の決め手の1つになる可能性があるので、今後充実していくべき項目の1つだと思います。

#### ○澤田委員

会場は主会場としては適地だと思います。先ほど、広域連合の話もありましたけれども、関西の多様性はすごく重要だと思っていて、特にパリがライバルとなっており、街の中で分散するのではないかとこの予想はありますけど、もっと広いところで一緒にやろうというようなこと、特にBIEは地元がどう盛り上がっているかを非常に気にされますので、その意味でいいますと、中心はここにあるものの、それぞれの多様なテーマを結び、それぞれの府県でサテライトを設けることもいいかなと思っています。愛知万博でいえば、市民参加のエリアは少し分けた、2~3kmですけれども、ああいった形で、少し多様性を、関西全体でみていくということが特徴的なことになるのではないかと、ただそれはBIEの認定の会場でなくてもいいんですけれども、そういったサテライトじゃないという田村委員のご意見がありましたけれども、ぼくは積極的にサテライト会場を設けたほうがいいと思っています。それから、もう1つ、万博をやっぱ1つのエリアでやるというのは古いので、東アジアくらいをネットワークするというのも重要だなと思っていて、東アジア全体が一つの博覧会を盛り上げていくといった構造をもって、ヨーロッパと東アジ

ア、さあどうすると、何かそういった構造をしっかりと立てて、会場を考えていくということも大事かと思えます。

○橋爪部会長

ありがとうございます。ほかにご意見あるかと思いますが、時間が来ておりますので、この後の全体会議でもご意見を頂きたいと思えます。よろしくお願ひします。

それでは、第3回整備等部会を終了させていただきます。

○事務局

事務連絡

【閉会】